

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 27 年度 第 8 回 相模原市経営評価委員会				
事務局 (担当課)		経営監理課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 4 0 (直通)				
開催日時		平成 28 年 2 月 10 日 (水) 18 時 30 分 ~ 20 時 10 分				
開催場所		相模原市役所 本館 2 階 第 1 特別会議室				
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)				
	市					
	事務局	4 人 (経営監理課長 他 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 議事 (1) 都市経営指針実行計画の市の対応方針について (2) 事務事業評価の市の対応方針及び評価結果の水平展開について (3) 平成 28 年度経営評価委員会の運営について (4) その他				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(以下、質疑応答・意見交換 は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 議事

#### (1) 都市経営指針実行計画の市の対応方針について

平成26年度取組結果と評価結果に対する市の対応方針について、事務局から報告した。

取組結果を公表した後、市民から問い合わせ等があったか。

取組効果額などに関連して、市政全般に対するご意見が1件あった。

「～を検討する」「～に努める」など、対応方針が具体的でないものが見受けられるが、PDCAサイクルによる取組のマネジメントを行うためには、具体的な取組結果を報告することが望ましいのではないか。

今回公表した対応方針は、26年度取組結果評価を受けた27年度以降の市の対応方針であり、すでに取り組んでいる内容も一部含んでいる。

実行計画は平成28年度までの計画で、最終年度までに目標を達成するよう継続して取り組んでおり、27年度取組結果は28年度に評価する。

「パークマネジメント計画の策定と実施」の市の対応方針にある「公園行政に係る全国的な課題」とは具体的に何か。

課題として、老朽化が進む公園施設の計画的で適切な維持管理などがあり、近年は、施設の予防保全など長寿命化へ向けた取組が進められている。

「受益者負担の適正化の推進」の市の対応方針にある「コスト公表」は、どのように行っているのか。また、「受益と負担の適正化の必要性について理解を深める取組」とは何か。

各種行政サービスの提供に係る3か年分のコストやサービスに応じた受益者の負担割合をホームページなどで公表しているほか、市民からの問い合わせに対して個別に説明するなど、適正化への理解を深める取組を行っている。

本日の本委員会の意見は、どのように生かされるのか。

いただいたご意見は、今後の取組に生かせるよう、事務局から担当課へ伝える。

#### (2) 事務事業評価の市の対応方針

評価結果に対する市の対応方針について、事務局から報告した。

都市経営指針実行計画の平成26年度取組評価結果に対する市の対応方針と平成27年度事務事業評価結果に対する市の対応方針は、それぞれどのような目的で作成

しているのか。

都市経営指針実行計画は、あらかじめ設定した目標に向けて、年次計画の進捗状況についての評価に対して市の対応方針を定めたもので、事務事業評価は、市が行っている事務事業の効率化を図るため、事業の手法についての評価に対して市の対応方針を定めたものである。

## (2) 事務事業評価結果の水平展開について

評価結果の水平展開の考え方(案)について、事務局から説明した後、審議した。

評価結果の水平展開の目的は何か。

事務事業評価を実施した8つの事業と類似した事業についても、評価結果を反映して事業手法を見直すための基準を示すものである。

水平展開の考え方については基本的に良いと考えるが、コストと人員削減の視点が強調されている。民間活力を活用した事業の包括化などにより、これまで市が担っていた業務の一部を民間に任せることで、今後、市は何にどう取り組んでいくのかという視点も必要ではないか。

市が将来的に新たな課題に向けた取組を進めるに当たって、人をマネジメントし、資源を選択・集中させていくという考え方も加えると良いのではないか。

昨年度策定した「相模原市PPP(公民連携)活用指針」では、民間が担うことができるものは民間に委ねることを基本とし、職員は市民の多様なニーズに応え先進的な施策を着実に展開していくための企画立案やマネジメントを担うことへ移行するなど、職員の意識改革を図ることを基本方針の一つとしていることから、今回の水平展開においても、同様の考え方に基づいた視点も加えることとしたい。

例えば窓口業務において、これまでの業務を民間に委ねた後も、職員が引き続き担うべき業務のほかに、新たに展開する事業に取り組むことができるなどの可能性を示すことで、水平展開の効果が広がっていくのではないか。

民間活力の活用による効果の一つとして、職員の適正な人員配置による企画立案の取組への移行もあるので、いただいたご意見を水平展開の考え方に反映できるように見直す。

現状のやり方で単に業務をマニュアル化して委託化するだけでなく、民間活力を活用することにより、業務のやり方やシステムそのものを見直していくという視点も必要ではないか。人員やコストの削減効果だけを強調するのではなく、業務のやり方やシステムを見直すことによる経費等の削減もあり、結果的に市民サービスの向上につながると考える。

性能発注など民間の創意工夫ができる発注方法により業務のやり方なども委ねることで、サービスの向上につながると考えているが、いただいたご意見を水平展開の

考え方に反映できるよう見直す。

水平展開の考え方は、最終的には文章化する予定なのか。また、文章化する場合、被評価事業の8事業とは別の扱いとするのか。

文章化し、8事業の評価から独立したものとする予定である。

被評価事業の8事業をモデル化した具体例を示すことで、水平展開の取組のヒントになるのではないかと。

水平展開につながるようなモデル例を加えることを検討する。

水平展開の考え方は成功例に基づいているが、実際には失敗している取組もあるのではないかとと思われる。失敗例の水平展開は考えていないのか。

失敗例の水平展開は考えていないが、被評価対象事業の8事業のうち、「現状を維持」としたものについても、一部見直しを行うよう意見を付していることから、今後、何らかの見直しを行うこととしている。民間の創意工夫ができる発注方法の推進など、効果的な水平展開の考え方を示していきたい。

委託の包括化が直ちにすべてうまくいくことは難しく、試行錯誤が必要だと思うが、他自治体の取組事例なども参考にすると良いのではないかと。

他自治体の取組事例なども参考にしていきたい。

民間活力の活用にあたって、予算ベースでの目標割合の設定は考えているのか。

現在のところ考えておらず、水平展開できる事業を抽出して見直しを検討していく。

反映の対象となる事業の抽出基準は、所管課が事業を抽出しやすい基準となるよう考慮されているのか。また、具体的な業務は想定しているのか。

事業の規模にもよるが、抽出しやすい基準の設定を考えており、複数の窓口・審査業務を想定している。

今後の進め方はどうするのか。

水平展開の考え方を基に、いただいたご意見を反映して文章化し、各局・区に対して事業の見直しを検討するよう通知を出す予定である。最終的な文案は、事務局と委員長で調整させていただきたいがよろしいか。

了承する（総員）。

### （3）平成28年度経営評価委員会の運営について

平成28年度取組事項及びスケジュール案、都市経営指針・実行計画の見直しに向けての基本的な考え方について、事務局から説明した後、審議した。

次期都市経営指針・実行計画の策定に係るスケジュール案に、「ヒアリング」とあるが、本委員会で所管課とのヒアリングを行うのか。

経営監理課と所管課の間でヒアリングを予定している。本委員会で実行計画に掲げる全ての事業を一つずつ審議・ヒアリングしていただくことは難しいと考えてお

り、答申において、取組の方向性や視点に関する全体的なご意見をいただきたいと考えている。

次期指針・実行計画の計画期間は、平成31年度まで継続する新・相模原市総合計画における最後の3年間に当たるが、内容は現指針と大きく変えるのか。

現指針を基に、内外の環境変化に対応した時点修正を行いたいと考えている。

委員会における次期指針・実行計画の見直しの審議では、主にどのような論点が想定されるのか。

本市の財政状況に留意しながら、例えば公民連携や自治体の広域連携、さがみ縦貫道路の開通、リニア中央新幹線の駅設置の決定など、新たな要素を中心にご審議いただきながら全体的なご意見をいただき、指針を見直していきたいと考えている。次期実行計画の審議に当たっては、現実行計画におけるこれまでの評価と市の対応方針に基づいた具体的な取組結果や課題について、一覧で提示していただくよう要望する。

現実行計画の取組が遅れていると評価されている項目については、次期実行計画への再掲を基本として検討する中で、遅れている理由や課題を整理する必要があると考えている。

例えば、「公立保育所の民営化」の取組はC評価であり、仮に次期実行計画に引き続き掲載した場合、同様の評価が続く可能性があるのではないかと考えている。

同取組は、平成28年度から有識者等から意見を聴取し、公立保育所等のあり方や民営化についての方向性を定める予定であることから、その取組状況も踏まえて、次期実行計画への再掲を検討する必要があると考えている。

事務事業評価の水平展開により見直す事業は、次期実行計画に掲載するのか。

水平展開で取り組んでいく事業は、次期実行計画に位置付けたいと考えている。

水平展開の視点は、次期指針に位置付けるのか。また、その場合、現指針から大きく変わる要素になるのではないかと考えている。

水平展開の考え方における民間活力の活用や市民サービスの向上などの視点を指針に盛り込むことを検討していきたい。

28年度の事務事業評価の実施は今後検討していくのか。

現時点では実施未定で、今後、庁内調整を進めていくが、28年度は水平展開による事業の見直しを進めるとともに、次期指針・実行計画の見直しに重点を置きたいと考えている。

水平展開で取り組んでいく事業が次期実行計画に掲載される場合、本委員会と所管課との間でヒアリングを実施しないのか。

水平展開により次期実行計画に位置付けられる事業は、本委員会で議論する機会があるとよいのではないかと考えている。

現時点では、本委員会で実行計画に掲げる事業のヒアリングは予定していないが、

今後検討させていただきたい。

(4) その他

次回委員会の開催は、平成28年4月28日(木)頃とする。

### 相模原市経営評価委員会委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	山口 由紀子	相模女子大学人間社会学部教授	委員長	出席
2	田所 昌訓	相模原市自治会連合会会長	副委員長	出席
3	川崎 一泰	東洋大学経済学部教授		出席
4	出雲 明子	東海大学政治経済学部准教授		欠席
5	霧生 卓	公認会計士		出席
6	清水 良則	相模原商工会議所青年部会長		出席
7	櫻井 正友	公募委員		出席
8	澤野 光晴	公募委員		出席
9	高橋 静子	公募委員		出席
10	水戸 隆	公募委員		出席